

フレンドシップ 通信

47期

30号

発行日：2016.8.3.

発行者：総務 松本



梅雨明け宣言もされて、本格的な夏到来ですが・・・何だかはっきりしないような日も続き、体調を崩しやすい時期です
熱中症対策に気を配るとともに、睡眠
そして、汗をかいたからと 冷たい
汗とともに、失われたミネラルなどを
摂取するとよいと言われています。

も充分にとり、自分の身体をいたわって暑い
飲み物ばかりをがぶ飲みすると、胃液が薄まり消化機能が低下してNG×です
補給する意味では、うめぼしや麦茶、ポカリスエットなどのスポーツドリンクなどは、少し薄めて
夏の風物詩のすいかも、塩を少し振ってたべると熱中症対策には効果があるそうです。



今月号はスズケンの新しい仲間の紹介です



インドネシアからやってきた二人です

笑顔がとってもさわやかな
イケメンで～す

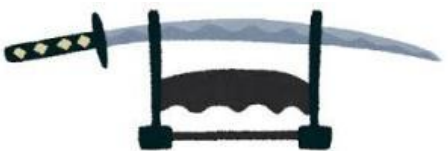


工場長の説明に 真剣な表情で
メモをとる二人
目の輝きが 他の人とはちが
いますねえ～



隔週の金曜日に行われる社員スピーチ。。。ある金曜日のお話しです

三人姉妹の長女に生まれた私は、小さな頃からおばあちゃん子でした。お布団に入って眠りにつくまでの間、童話に始まり季節の行事・・・戦死したおじいちゃんの話・・・と毎日毎日いろんなお話しをしてくれました。 そんな話の中でも、うちは何故か女系家族なんだよね～という言葉を経験した覚えがありました。 いつしか私も成長し、結婚をして子供二人にも恵まれましたが、やはり女の子でした(笑)
それから時は流れ、20数年前に実家の父が60歳で突然亡くなりました。前日まで元気だった父でしたのでショックでした ！ 四十九日が過ぎた頃から誰かからともなく、やっぱり変だよね・・・っていう言葉が出始めました。 実はその前の年には、母の妹の旦那さんも突然亡くなっていたのです。内々で話していても 進展しないからという事になり、とある場所(そういう事をみてる所)に私と母と妹で出かけました。父や、叔父の生年月日などを聞かれた後・・・その方が、お宅には刀が有りますねと言いました 母も妹も知らないという顔をしていましたが、私だけは有ると思いますと答えました。そうなんです！ 昔からおばあちゃんに聞かされていた 話の中で、うちのご先祖様は武士だった・・・と 戦に負けて馬に乗ってこの地に来て、住みついたとの話が頭をよぎったのです とにかくその刀が災いしてるからそれを持って来なさいと言われ、家に帰り親族会議を開きました！ こうなると更に家系を遡ってみると なんと男に生まれた者はすべて早死にし、父の様に結婚で一緒になった者もいわゆる天寿を全うする事なく亡くなっていたのです。 当時30代だった私の主人や妹の旦那さんは、冗談じゃない！！まだ死にたくないぞ・・・と青ざめ、とにかく祈禱をしてもらおうとなりました。 本家のおばさんを説得し刀を借り、見ると刀はすごく錆びていました・・・刀は、保管する時は1点の曇りもなくピカピカにしておかないとダメだと言われ、更に、この刀は沢山の人の殺めてきた・・・その怨念が家を繁栄させない為にしているのだと10日間の祈禱の間、アルツハイマーで何も分からないおばさんが、毎夜・・・母のところに刀を返せと電話を掛けてきた事も 不思議な事の一つでした。あれから20数年経ち、今のところ主人も妹の旦那さんも無事ですが(笑)
今思うと、刀のたたきだとか怨念とか実際のところ本当なのかは分からないのですが・・・この世には目で見える事ばかりではなく、見えていない世界も存在するのかも・・・と考えるこの頃です。



注：フィクションではなく
実際にあったお話しです